

12j. 実務で活用するUNIX/Linuxの必須技術 (New)

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室(確定)
・講師	富士通九州システムズ(FJQS)講師:齋藤るり子 氏
・開催月日	H29年8月30・31・9/01日(水)・(木)・(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

今後UNIX/Linuxを使用される方。UNIX/Linuxを体系的に理解したい方。

3. カリキュラムの概要

UNIX/LinuxはインターネットやイントラネットのサーバーOSとして広く利用されています。今後、インターネットやイントラネットに関するシステムの導入や運用管理、開発作業を行うSEにとって、UNIX/Linuxの基本概念や基本操作は必須の知識、スキルです。本コースでは、UNIXおよびLinuxシステムの概要、基本的な使用方法について講義・演習を通じて体得して頂きます。具体的には、pwdやlsなどの基本コマンド、ファイル操作、アクセス権限設定、ネットワーク操作などを習得して頂きます。これからUNIX/Linuxを使用する方、これまで何となくUNIX/Linuxを操作しており体系的に技術を習得したい方にお奨めのコースです。実習で利用するディストリビューションはCentOS6.4です。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
1.Linuxの概要	0.5	・Linuxの概要
2.テキストログインでの操作	1.0	・ログイン/ログアウト ・プロンプトの表示
3.仮想コンソール	1.0	・仮想コンソールの概要 ・仮想コンソールの切り替え
4.マニュアル表示とコマンド調査	0.5	・オンラインマニュアルの表示(man)
5.ファイル、ディレクトリの基礎知識	1.0	・ファイルの簡易作成 ・ファイル名、ディレクトリ名とパス名
6.ファイル操作、ディレクトリ操作	4.0	・ファイル操作のコマンド (cat, file, cp, mv, rm, find, locate, touch, date) ・ディレクトリ操作のコマンド (ls, mkdir, rmdir, mv, cd, pwd, pushd, popd, du, df)
7.リンクとiノード	1.0	・リンクの設定(ln) ・リンクのメカニズム ・iノードの仕組み
8.viエディタ	3.0	・viエディタの使用方法
9.テキスト処理	3.0	・テキストファイルを操作するコマンド (head, tail, sort, uniq, tr, more, less, lv, grep, diff, echo)

10.ファイルのアクセス制御	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・パーミッション(アクセス権)とは ・アクセス権の設定 (umask、chmod) ・オーナーの変更(chown)
11.ネットワークコマンド	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・sshによるリモート接続 ・ftpによるファイル転送
計	21.0Hr	

5. 使用教材

新 Linux/UNIX入門 第3班(ソフトバンククリエイティブ:林 晴比古)

補助資料(富士通九州システムズ)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. コマンドによる操作体系を理解し、基本的なコマンドを使用できる。
2. viを使用し、テキストファイルの作成・編集ができる。
3. ファイル・ディレクトリ操作コマンドを使用し、自分の所有するファイルを管理できる。
4. アクセス権の概念を理解し、自分の所有するファイルに対してアクセス権を設定できる。
5. ネットワークコマンドを利用して、リモート操作やファイル転送を行うことができる。

7. レベル

ITSS:レベル1・2共通 育成 - [*]IT基本2【レベル: 1】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名